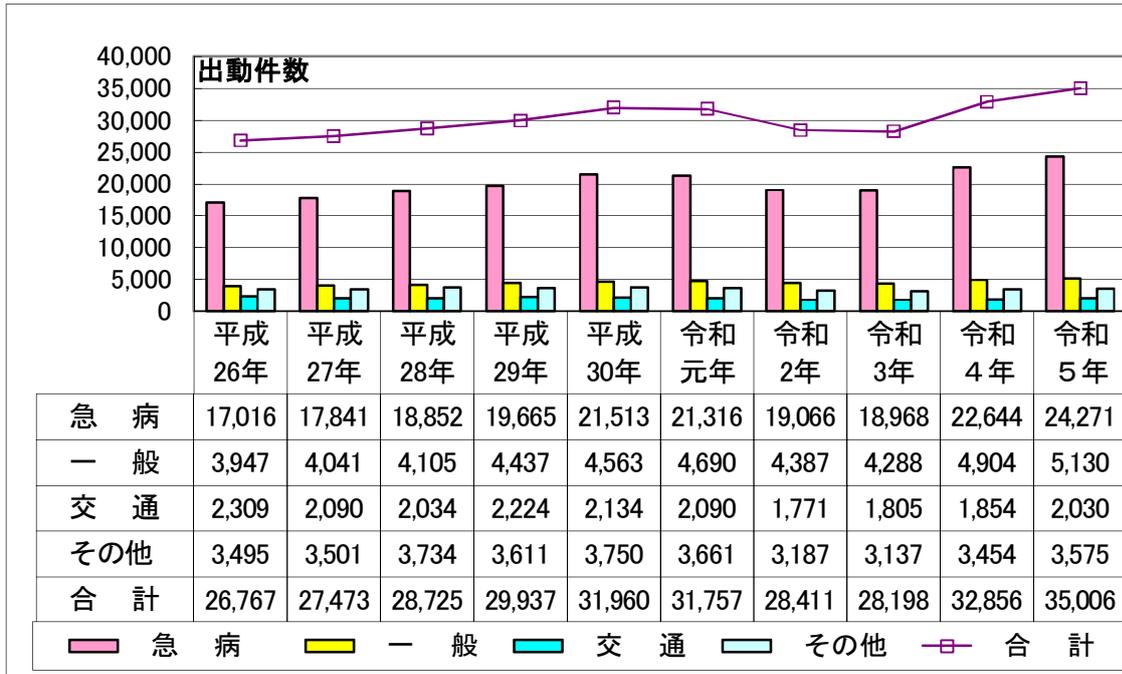


# 令和5年救急概要

令和5年中における救急出動件数は35,006件（前年32,856件）で2,150件（6.5%）の増加となり、搬送人員は29,019人（前年26,330人）で2,689人（10.2%）の増加となっています。1日平均は96件（前年90件）で約15分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

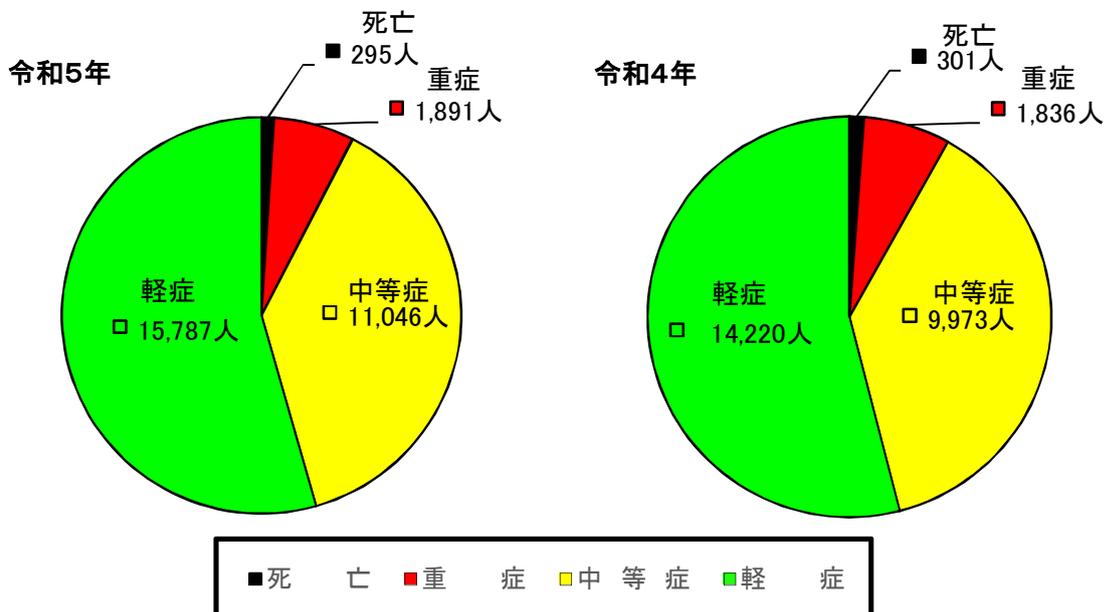
## 過去10年間の救急出動件数の推移

- 過去10年間の救急出動件数をみると、平成30年までは毎年増加、令和元年からは3年連続で減少に転じましたが、令和4年以降は増加傾向となっています。



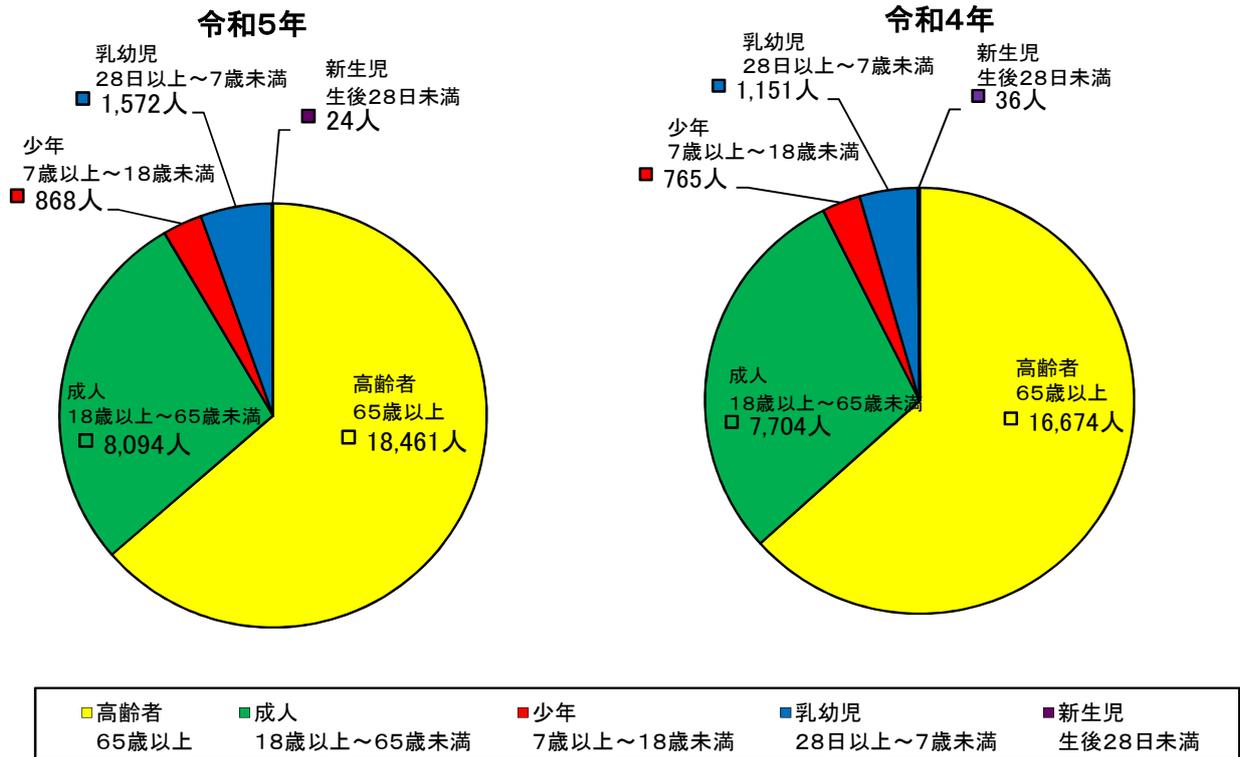
## 程度別

- 搬送人員を程度別にみると、軽症15,787人（前年14,220人）で1,567人（11.0%）の増加、中等症11,046人（前年9,973人）で1,073人（10.8%）の増加、重症1,891人（前年1,836人）で55人（3.0%）の増加、死亡295人（前年301人）で6人（2.0%）の減少となっています。



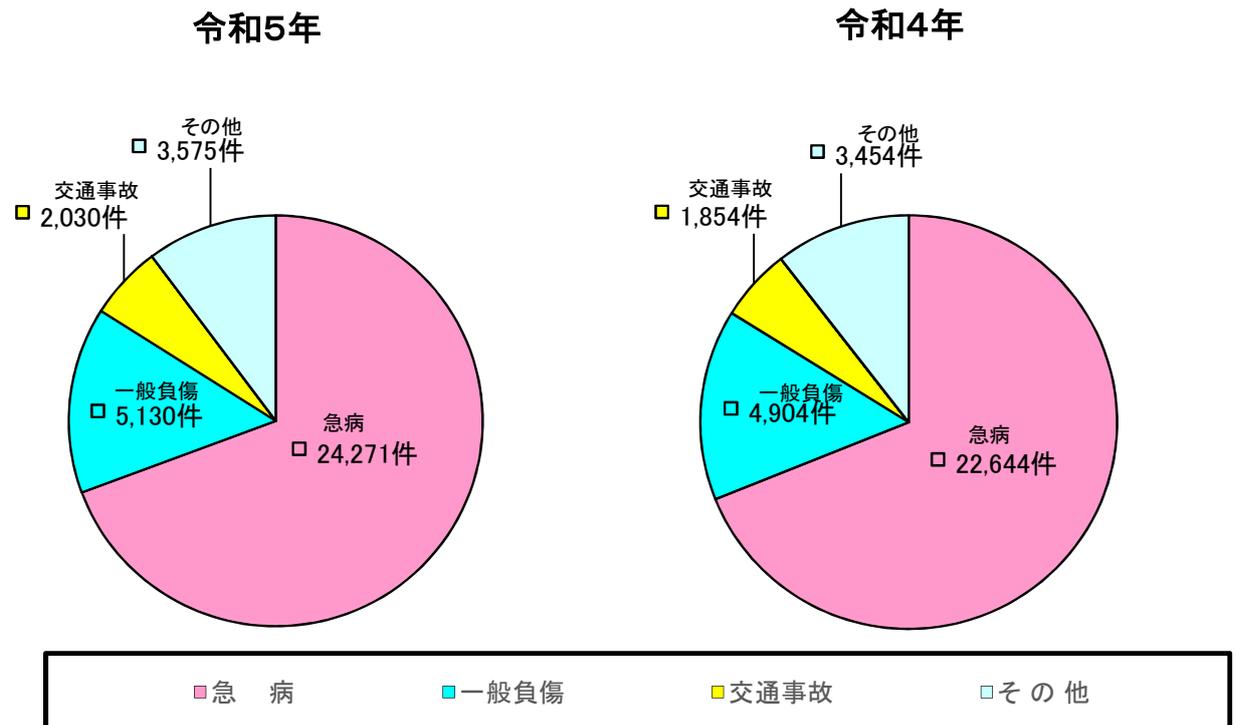
### 年齢区分別

- 搬送人員を年齢区分別にみると、高齢者が18,461人で最も多く、全体の63.6%で、以下、成人、乳幼児、少年、新生児の順になっています。



### 事故種別

- 出動件数を事故種別でみると、急病が最も多く全体の69.3%で、以下、一般負傷、交通事故の順になっています。



# 令和5年救助概要

- 本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊の計5隊の救助隊を配置しています。
- 救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。
- 令和5年中の救助件数は765件（前年700件）で65件（9.3%）増加し、出動延べ隊数は、1,215隊（前年1,192隊）で23隊（1.9%）の増加となっており、事故別にみると建物等による事故が最も多くなっています。
- 近年では、室内閉じ込め救助が増加しています。この室内閉じ込め救助とは、何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認が出来ない状態のことであり、救助出動件数765件のうち512件（66.9%）がこの室内閉じ込め救助出動となっています。

